

# かわさき かわら版

2017 秋号

No.27

## CONTENTS

- 専門看護師からのお知らせNo.4  
がん看護専門看護師 森重ひろみ
- 住宅改修について  
リハビリテーションセンター 作業療法士 佐藤 一秀
- IVRについてのご紹介  
中央放射線部 副主任技師  
(血管造影・インターベンション専門技師) 藤井 政明
- 地域連携便り  
● ～かかりつけ医を持ちましょう～  
これさわ内科医院
- 季節の健康レシピ  
栄養部 管理栄養士 谷村 綾香

### がんサロンのご案内

「がん患者さんやご家族がお互いに自分の経験を語り合い、  
それぞれの悩みや不安な気持ちの分かち合いができる交流の場です。」



**日時** 平成29年10月21日（土）  
10：00～12：00

**会場** 当院3階 外来セミナー室  
岡山市北区中山下2-6-1

**対象**：がん患者さんとそのご家族  
**テーマ**：基本的な皮膚のお手入れ  
今後の開催予定11月18日(土)、12月16日(土)

**お問合せ** がん相談支援センター（TEL 086-225-2111）

参加無料  
申込不要

No.4

## 専門看護師からのお知らせ



がん看護専門看護師

森重ひろみ

日本は、他の先進国に先駆けて、8年後の2025年には団塊の世代が後期高齢者となり、世界のどの国も経験のない超高齢社会を迎えます。がんによる死亡率も年々増加していて、男性の2人に1人、女性の3人に1人はがんに罹患しているという状況です。

また、がん医療の進歩にともない、看護もそれに対応するための変化が求められています。入院日数の短縮化により、外来でも侵襲の高い治療が行われるようになり、さらには、終末期にあっても自宅で療養する患者さんも増えています。患者さんとそのご家族は、がんとともに生活するためのセルフケア能力が今まで以上に求められるようになっていきます。

がん看護には、患者さんご家族が、がんを抱えても自分らしく生きることができるよう、また、がんと共に生きて高い質のもとに人生を全うできるよう、患者さんやご家族の考えや価値観を尊重し、生活を支えるという役割があります。

私はがん看護専門看護師として、患者さんやそのご家族およびがん医療に関わる人々に対して水準の高い看護ケアを効率的に提供できるように、がん領域の認定看護師と連携して、院内を横断的に活動しています。具体的には、様々な職種と協力し、患者さんやご家族の困りごとへの支援（体の苦痛、不安、経済的な問題など）をさせていただいたり、院内外の看護師への教育などを行っています。どんな小さなことでも、いつでも気軽にお声をかけていただき、活用いただければ幸いです。

### 【専門看護師（Certified Nurse Specialist）とは】

日本看護協会専門看護師認定審査に合格し、ある特定の専門看護分野において、水準の高い看護を効率よく行うための技術と知識を深め、卓越した看護実践能力を有することを認められた者をいいます。

## 住宅改修について



リハビリテーションセンター 作業療法士

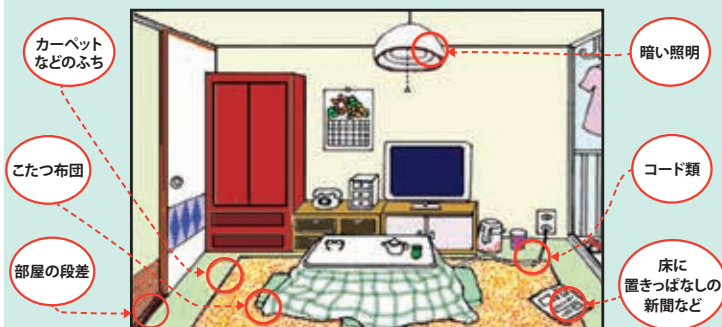
佐藤 一秀

### 住宅改修って何？

住まいを安全で使いやすくするため、また介護者の負担を軽減するために家を改修することです。

当院では、退院前に患者さん・ご家族と一緒にリハビリスタッフがご自宅に伺い、家屋の環境とご本人様の生活動作を確認させていただきます。転倒リスクを少なくするために、危険な場所への対策や、患者さんの能力に合わせた環境の設定をしていきます。必要に応じて、**ご本人様の身体能力に合わせた福祉用具・手すり等の改修の要・不要**について、検討・提案させていただきます。

### 家の中に潜む意外な危険場所



大きな段差よりも、実際には3cm程度の小さな段差で転倒事故が起こっています。

カーペットのふち、コード類に足がかかる、暗い照明のため足元が見えづらく、床に置きっぱなしのもの・こたつ布団に足を滑らせることも多いので注意しましょう。

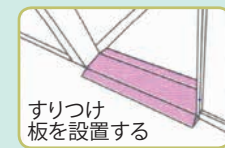
### 安全な環境作り



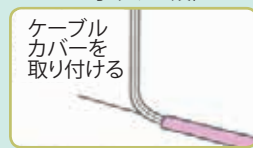
自動照明



立ち座りをするとこ  
ろに手すりの設置



すりつけ  
板を設置する



ケーブル  
カバーを  
取り付け

### ご存知でしたか？

要介護状態区分（要介護度）にかかわらず、**支給限度額を20万円**として、住宅改修に要した費用の**9割**が、介護保険から支給されます。



# IVRについてのご紹介



中央放射線部 副主任技師  
(血管造影・インターベンション専門技師)

藤井 政明

IVR (アイ・ブイ・アール) という言葉をご存じでしょうか。さまざまな医療場面で活躍の場を広げている治療法で、正確には「Interventional Radiology=インターベンショナルラジオロジー」、日本語では「画像下治療」と訳しています。文字通り、X線(レントゲン)やCT、超音波などの画像診断装置で体の中を透かして見ながら、カテーテル(血管の中を通すチューブ)や針などを血管内に入れて、病気の治療を行っています。

## 体への負担が圧倒的に少ない

IVRは、外科手術のようにおなかや胸を切らずに、体の奥にある臓器や血管の治療ができる方法です。そのため、患者さんの体への負担が圧倒的に少ないという特徴を持っています。また、医療器具を入れる傷も数ミリ程度と小さく、器具を抜いた後は縫う必要もないので、処置後の傷もほとんど残りません。

## 血管の詰まりやがんの治療など幅広く対応

治療できる範囲が非常に幅広いのも特徴です。体の中には10万キロに及ぶ血管と多くの管(消化管や尿管など)が張り巡らされていますが、IVRではこの血管や管の“迷路”を体の外から観察しながら、カテーテルや針を操作し、目標である病変部に正確にたどり着くことができます。このため、体への負担は小さくさまざまな病気を治療することが可能です。血管内にカテーテルを進めるため、血管の詰まりを治すことが容易にでき、血管をたどって肝臓などの臓器に行くことで、抗がん剤を注入したり、がんの成長に必要な血液をがんが届かないようにすることなどもできます。

## 被曝(ひばく)の危険性は?

IVRの治療は短時間で終わるものがほとんどのため、入院期間が短いという利点があります。一方で、短時間でもX線などの放射線診断機器を使うため、一定の放射線にさらされるのも事実です。これらは、IVRによる危険性と効果の関係から判断されますが、被曝の危険性については主治医の説明をしっかりと聞き、納得した上で治療を受けてください。当院に導入したIVR装置は低い放射線量で検査・治療ができるようになっています。

## 当院のIVR

当院のIVRセンターには部屋が4室あり、それぞれの用途に応じた治療を行っています。

### Room 1

正面・側面の2つの血管撮影装置を備えた部屋で、同時に2方向からの情報を得ることが出来ます。特に脳動脈瘤に対するコイル塞栓術、頸動脈の狭窄への頸動脈ステント留置術などを行います。

### Room 2

血管内治療と手術が併用して出来る部屋で専用のベッドを備えています。特に腹部大動脈瘤へのステントグラフト内挿術や下肢動脈、透析シャントの血管内治療などを行います。

### Room 3

CTと血管撮影装置を組み合わせた部屋で治療しながらリアルタイムにCTを撮ることが出来ます。特に肝臓がんに対する化学塞栓術や血管奇形への硬化療法、組織生検などを行います。

### Room 4

心臓専用の部屋です。血管撮影装置の他にも専用の心電図等を備えています。急性心筋梗塞の治療や頻脈性不整脈に対してのアブレーション治療などを行います。

検査について不安なことがあれば、いつでも主治医、看護師、診療放射線技師にお尋ねください。



(Room 3)



## 地域連携便り

～かかりつけ医を持ちましょう～

# 医療法人 これさわ内科医院



院長 是澤 俊輔 先生

**診療科目** 内科、小児科、リハビリテーション科

**所在地** 〒703-8261 岡山市中区海吉1537-2

**T E L** 086-277-1881

**F A X** 086-277-1882

**往 診** 有 月曜日～土曜日（12：00～15：00）

**休 診 日** 木曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝日

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	休診
15:00～18:00	○	○	○	休診	○	休診	休診



## 院長先生からのコメント

当院は、百間川の西岸で、操山の東尾根の南側に位置する、旧岡山市の最東端のベッドタウン地区にあります。患者さんの対象としては小児から高齢者まですべての世代にわたり、一般的な内科疾患について診療しております。

また、この地区からは市内の総合病院や専門病院まで通院が不便ですので、開業当初から、近隣住民の方々のかかりつけ医として往診や訪問診療を行っていますが、後送受け血病院としては貴院などと連携をとっております。また、心疾患や肝疾患など専門性の高い疾患では、市内のすべての主な病院と連携をとっております。

診療機能としては、各種予防接種、岡山市委託の特定健診・保健指導、胸部単純X線、上部消化管透視、超音波検査、心電図、各種感染症迅速検査などがあります。

## 季節の健康レシピ<sup>16</sup>

## 秋の実りのパワーで、美味しく健康に過ごそう！

食欲の秋になりました。秋には栄養を豊富に含んだ旬の食材がたくさんあります。この機会に秋の味覚の栄養と特徴を知り、美味しく食べて元気な体を手に入れましょう。

### ●秋の満足レシピ「秋の味覚でコロコロサラダ」

#### 【作り方】

- ①さつまいもとかぼちゃはそれぞれ1cm角のサイコロ状に切り、茹でる。
- ②りんごは皮付きのまま、いちょう切りにする。
- ③しめじ、えのきは食べやすい大きさに切り、オーブンなどで焼いておく。
- ④茹でたさつまいもの半分をつぶし、ヨーグルトを入れて混ぜる。
- ⑤④へ残りのさつまいもとかぼちゃ、②③を入れ塩・こしょうで味を整える。

#### ◎さつまいも・かぼちゃ

さつまいもはビタミンC、Eが多く、かぼちゃはビタミンA、Eを多く含みます。これらの食材には糖質が多く含まれており、食べ過ぎると肥満の原因になるので注意が必要です。さつまいもやかぼちゃは、シンプルに焼いたり、サラダにそのまま混ぜるなど、エネルギーの高い調味料を使わず、素材を活かした料理で食べるのがおすすめです。

#### ◎きのこ類

きのこ類は低カロリーで整腸作用がある食物繊維を多く含むため、少量でも満腹感をもたらしてくれます。カルシウムの吸収を促すビタミンDも多く含んでいるため、乳製品と一緒に食べると効果的です。

#### ◎りんご

りんごのクエン酸やリンゴ酸は疲労回復効果が期待できます。果物には脂肪になりやすい果糖が多く含まれるため、適量を心がけましょう。りんごは1日あたり1/2個が目安です。

栄養部 管理栄養士

谷村 綾香



#### 材料：2人分

さつまいも	小1/2本
かぼちゃ	さつまいもの半分
しめじ	20g
えのき	20g
りんご	1/8個
ヨーグルト(プレーン)	大さじ1杯
塩・こしょう	少々
(1人分：エネルギー63kcal 食物繊維2.0g ビタミンC12mg)	



川崎医科大学  
総合医療センター

〒700-8505 岡山県岡山市北区中山下2-6-1  
TEL. (086) 225-2111 (代) FAX. (086) 232-8343

病院庶務課庶務係 (内線) 85112

<https://g.kawasaki-m.ac.jp/>  
E-mail: kwsyomu@med.kawasaki-m.ac.jp